

看護実践能力習熟段階（キャリアラダー）

		新人	I	II	III	IV	
		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する	
		倫理的・法的規範に基づき実践する			個別の状況において、倫理的・法的判断に基づき実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動しロールモデルを示す	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する
専門的・倫理的・法的な実践能力	アカウンタビリティ（責務に基づく実践）	自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動説明し実践への責任を持つ		状況に応じ自ら判断して行動・説明し実践への責任を持つとともに、責任を果たす行動における自身の課題に気づき他者に共有する	責任を果たすことについて同僚や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動する	より複雑で関係者が多様な場面においても責任を果たし、組織や分野を超えて参画する	
	行動目標	指導を受けながら、病院、看護部の理念、組織と機能について理解し行動ができる	病院、看護部の理念、組織と機能について理解し行動ができる	病院、看護部の理念、所属部署（BSC）の目標に基づいて自分の判断や行為の結果に責任を持つことができる	病院、看護部の理念・所属部署（BSC）の目標達成に向け多職種連携の調整役としてのモデルとなり、自分の判断や行為の結果に責任を持ち実践ができる	病院、看護部の理念・所属部署（BSC）の目標達成に向けて地域社会に目を向け、多職種連携の調整役として組織横断的に活動できる	
	倫理の実践	倫理指針等と目の前の実践を紐づけて理解し、倫理的指針に基づき行動する			個別の状況においても自身で判断し倫理的に行動するとともに、倫理的問題が生じている可能性に気づき他者に共有する	顕在的・潜在的な倫理的問題について問題提起し、同僚に働きかけモデルを示す	より複雑かつ多様な顕在的・潜在的な倫理的問題について、解消のために組織や分野を超えて参画する
	行動目標	倫理的課題・ジレンマに気づくことができる	倫理的課題・ジレンマに気づき、他者と共有することができる	顕在的・潜在的な倫理的問題が生じている可能性に気づき他者に共有する	顕在的・潜在的な倫理的問題について問題提起し、多職種で倫理カンファレンスできる	顕在的・潜在的な倫理的問題提起し解決するための組織や分野に進言することができる。	
	法的実践	法令に基づき取るべき行動・取ってはいけない行動を知り、法令を遵守し行動する			個別の状況においても法令を遵守し行動するとともに、法令に違反する可能性がある行動に気づき他者に共有する	法令に違反するリスクがある同僚の行動や組織の状況に対し問題提起する	より複雑な状況においても法令を遵守し、法令に違反するリスクがある行動や状況に対し組織を超えて参画する
	行動目標	指導を受けながら、保助看法、個人情報、看護業務基準等に準じた行動ができる	保助看法、個人情報、看護業務基準等に準じた行動ができる	保助看法、個人情報、看護業務基準等に準じた行動を取り、法令に違反する可能性がある行動に気づき他者に共有する	保助看法、個人情報、看護業務基準等に準じた行動を取り、部署内で情報の共有と問題提起をする	保助看法、個人情報、看護業務基準等に準じた行動を取り、リスクや問題提起について改善に導くことができる	
		基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
臨床実践能力	ニーズをとらえる力	助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況（場）の特性を踏まえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえてニーズをとらえる	
	行動目標	助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな個性を踏まえ、必要な情報収集ができる	予測的な状況判断を踏まえた必要な身体的・精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる	
	行動目標	助言を受けながらケアの受け手の状況から優先順位を考慮することができる	得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	収集した情報と状況を関連付けて、優先度の高いニーズをとらえることができる	多職種から意図的に、ケアの受け手の顕在的、潜在的ニーズをとらえ、幅広い選択肢の中から情報を統合できる。	多職種から意図的に、ケアの受け手の顕在的、潜在的ニーズをとらえ、幅広い選択肢の中から情報を統合し、対象となる人々の価値観に応じた判断ができる	
	ケアする力	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する	
	行動目標	助言を受けながら看護手順に沿ったケアが（実地）できる	ケアの受け手の個性性を考慮しつつ、標準的な看護計画に基いたケアを実践できる	ケアの受け手の個性性を考慮した看護計画に基いたケアを実践できる	ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに対応するために幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価できる	
	意思決定を支える力	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	行動目標	助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、情報を共有することができる	ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認し看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の思いや希望を確認し、それらをケアに関連付けて、協力し合い多職種と連携し進めることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに主体的に参加し、意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を尊重できる	ケアの受け手のニーズに適切に対応するため、多職種を巻き込み、自律的な判断のもと積極的に働き掛けることができる	
協働する力	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携できる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす		
行動目標	助言を受けながら必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる	ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる	ケアの受け手の個別のニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら、多職種連携を進めていくことができる	ケアの受け手が置かれている状況を捉え、結果を予測しながら、主体的に多職種と連携することができる	多職種との連携を図り患者、家族の思いに寄り添い、目標に向かって、中心的役割を担うことができる		
行動目標	助言を受けながらチームの一員としての役割が理解できる	多職種・スペシャリストナースに患者のケアについて相談することができる	多職種・スペシャリストナースを活用して患者のケア方法を考えることができる	多職種・スペシャリストナースを活用して、患者のケア方法を協働して実践することができる	多職種・スペシャリストナースが十分機能するようその調整的役割を担う事ができる		

		新人	I	II	III	IV
		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する
リーダーシップとマネジメント能力	基本的な業務手順に従い、必要に応じ助言を得て実践する	業務手順や組織における標準的な計画に基づき自立して実践する	個別の状況に応じた判断と実践を行う	組織における安全かつ効率的・安定的な実践のための体制整備に主体的に参画し、同僚を支援する	安全で効率的・安定的な実践を常に提供できるよう、組織や職種を超えた調整や教育に主体的に参画する	
	業務の委譲 / 移譲と管理監督	看護チーム内の他職種の法的権限や役割を知り、助言を得て、業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	看護チーム内の他職種の法的権限や役割を理解し、自立して業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	イレギュラーな状況においても看護チーム内で適切な業務の委譲および実施確認をするとともに、他職種の法的権限や役割を理解し、必要時業務を移譲する	組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画する	業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、組織や職種を超えた調整による体制整備に主体的に参画する
	行動目標	指導を受けながら業務上の報告・連絡・相談を行うことができる	業務上の報告・連絡・相談について振り返り学びを深めることができる	業務上の報告・連絡・相談に対応でき、状況に合わせた業務調整ができる	業務調整において、主体的に参画しスタッフに指導することができる	業務調整を行い、組織横断的に体制整備に主体的に参画する
	安全な環境の整備	助言を得て、安全な環境整備に関わるルールに基づき行動する	安全な環境整備に関わるルールに基づき自立して行動する	事故や問題の発生時、人々や同僚の安全を確保し影響を最小限にする行動をとる	事故や問題の発生時にも主体的に行動し同僚を支援するとともに、潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画する	事故や問題の発生時・平常時の危機管理体制の整備や見直しに、組織や職種を超えて主体的に参画する
	行動目標	指導を受けながら、災害時対応マニュアルが理解できる	災害発生時にはメンバーとして自己の役割がイメージできる	災害発生時には決められた初期行動を円滑に出来るよう行動が取れる	災害時発生時には決められた初期行動が円滑に出来るようリーダーシップを発揮し行動できる	災害発生時には決められた初期行動が円滑に出来るよう指導し、評価及び改善策が提案できる
	行動目標	指導を受けながら感染・医療安全マニュアルに沿った行動ができる	感染・医療安全マニュアルに沿った行動ができる	その場の状態に応じた安全の確保を行い、影響を最小限にする行動ができる	危機管理意識を持ち、潜在的なリスクを考え行動をするとともに指導ができる	危機管理体制の整備や見直しに、組織や職種を超えて主体的に参画する
	組織の一員としての役割発揮	自身の業務を時間内・時間通りに行うとともに、組織（チーム等）の一員としての役割を理解する	組織や業務実施の標準的な計画に基づき、業務の優先順位の判断や効率的な時間管理を自立して行うとともに、組織（チーム等）の活動に参加し同僚と協力する	業務の実施の中で一時的にリーダーとしての役割を担い組織（チーム等）の目標達成のための業務の管理や改善を行う	組織の目標達成のための業務改善や同僚の支援を行う組織のリーダーとしての役割を担い、改善すべき点は同僚にフィードバックする	業務改善や人材育成のためにリーダーとしての役割を担い目標達成に参画するとともに、組織を超えた変革や人材育成に役割を発揮する
行動目標	指導を受けながら、チーム医療の構成員としての役割を理解し時間内に業務を終えることができる	部署の一員として活動に参加し、メンバーの一員として、役割を果たすことができる	日々のリーダーとして部署の目標達成に向けて、リーダーシップを発揮しスタッフとともに行動することができる	リーダーとしての役割を担い、組織の目標達成のための業務管理や調整を行い、スタッフを支援することができる	組織内の関係者の立場や役割の違いを理解し、目標達成のための業務改善、人材育成を行うことができる	
専門性の開発能力	専門職としての自身の質の向上を図る		自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わる	幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わる	未来を志向し、看護の専門職として、組織や看護・医療を超えて社会の変革・創造や人材の能力開発に貢献する	
	看護の専門性の強化と社会貢献	看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割の認識に基づき行動する	保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動し、組織の新人・学生のロールモデルとなる	保健・医療・福祉の制度や政策に広く視野をもって専門職組織（職能団体や学会等）の活動を通じた提言活動や看護学の発展に関わる	専門職組織（職能団体や学会等）に参画し、未来を見据えた制度・政策の改善・決定や、組織や看護・医療を超えた能力開発に関わる	
	行動目標	指導を受けながら、医療・看護の基礎的な情報を収集し自身の看護実践に結びつける	看護の理論や根拠を理解し、実践に生かす努力をする	自らの専門性を根拠に看護実践を遂行し、新人・学生へのロールモデルとなる	自らの専門性を根拠に看護実践を遂行し、後輩へのロールモデルとなる研修や学会参加を通して組織内で発信・還元することができる	研究的視点を持ち、主体的に看護研究や学会に参画し看護の専門性を広く発信・還元する
	看護実践の質の改善	科学的根拠に基づき行動し、自身の看護実践を定期的に見直し質向上を図る	自身の看護実践を見直すことができる	エビデンスに基づき自身や組織の看護実践の質の評価と改善を行うとともに、組織の新人・学生の指導を行う	新たな知見や技術を取り入れ実践し、成果を可視化することでエビデンス構築に貢献するとともに、同僚の学習や能力開発を支援する	看護・医療を超え新たな知見や技術を活用し組織を超え未来を見据えた変革・創造を主導・発信するとともに、看護実践の質向上を支援する
	行動目標	指導を受けながら、自身の看護実践を見直すことができる	自身の看護実践を見直すことができる	エビデンスに基づき自身の看護実践の質の評価と改善を行うことができる	エビデンスに基づき部署の看護実践の質の評価と改善をPDCAサイクルを用いて行うことができる	エビデンスに基づき組織の看護実践の質のデータ評価と改善を行うことができる
	生涯学習	自身の実践や能力の内省・評価や課題の整理を行い、適宜同僚等からのフィードバックも得ながら、学習を自ら計画的に行う	自己のキャリア計画を具体的に想像することができる	ワークライフバランスを意識した自己のキャリアを計画することができる	ワークライフバランスや自己のキャリアデザインに沿った課題を見つけることができる	ワークライフバランスを意図した自己のキャリア計画を明確にし実現に向けた行動ができ、スタッフの生涯学習の支援ができる
	自身のウェルビーイングの向上	自身のウェルビーイングの維持を図る		心身の状況を判断してセルフケアを行い、自身のウェルビーイングを維持向上する	自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し同僚のモデルとなる	自身のウェルビーイングの維持向上を継続するとともに、組織や看護・医療を超えて人材のウェルビーイングに創造的に関わる
行動目標	指導を受けながら、セルフコントロールについて理解を深めることができる	セルフコントロールについて、自己を振り返り改善行動が取れる	セルフコントロールについて、他者と意見交換することで自己の傾向を理解し改善することができる	セルフコントロールについて、他者への助言を行うことができる	セルフコントロールについてモデル的役割となり職場により良い影響をもたらすことができる	

看護実践能力習熟段階 ラダー別能力開発学習(院外研修、院内研修、e-ラーニング)

	新人	I	II	III	IV
	必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する
院外研修受講対象			【看護協会】 ◇認知症看護研修 ◇入退院看護師養成研修 (実務経験5年以上退院支援を牽引する立場) ◇実地指導者研修 【私病協】 ◇リーダーシップ研修 (卒後3年目限定) (中堅看護師) ◇病院看護師対象認知症講座 ◇施設基準要件の対象研修 ◇排尿自立指導料 (経験3年以上)	【看護協会】 ◇実習指導者講習会 (経験3年以上) ◇教育担当者研修 【私病協】 ◇地域連携強化推進研修	【看護協会】 ◇認定看護管理者課程ファーストレベル 【私病協】 ◇中間管理者研修 I (主任・副主任)
グループ 人材交流研修			➔		